

提案内容

非常用発電機稼働中の感電防止

( 説明 ) <非常用発電機稼働中の高圧感電防止対策>

( 概要 ) 非常用発電機高圧ケーブル接続部の保護カバーが接続部付近までしか覆われてなく、非常時やメンテナンス時に不意に触れてしまう可能性があるため、安全対策を取る必要があった。

( 実施・成果 ) 保護カバーを配線ピットまで覆うことによりケーブルまで保護ができ、直接触れることがなくなったので、感電防止ができた。

